

15 竜神山自然環境保全地域



1 地域指定

- (1) 指定地域 竜神山周辺一帯（石岡市）
- (2) 指 定 昭和53年9月1日（茨城県告示第1065号）

2 保全計画の概要

(1) 指定理由

本地域は、石岡市の北西約8km余にある竜神山（標高209.6m）の南端部に位置し、スダジイ、シラカシの常緑広葉樹、クロマツ、アカマツ、スギ、モミの針葉樹、その他イヌシデなどの大木があり、またその林床には、シダ類40種以上が認められ、豊かな植生を示している。

このため、本地域は、茨城県自然環境保全条例第3条第1項第5号の「植物の自生地及び野生動物の生息地」に該当する。

(2) 保全すべき自然環境の特質

ア 植 生

本地域の植生を大別すると社殿、参道付近の針広混交林をなす東半とアカマツを主とし、若干の広葉樹を交えた西半とすることができる。

東半部はスダジイ、シラカシ、イヌシデ、スギ、クロマツなどの大木が多いばかりでなく低木もまたその樹種が豊富である。

社殿より上部には、スダジイ、シラカシが多く、ほぼ極相に近い林相を示している。

山麓の鳥居より社殿までの参道約200mの両側に、植栽種を主として、スギ、スダジイ、シラカシ、クロマツ、アカマツ、イヌシデ、モミ、ヒノキ、ヒサカキ、ソメイヨシノ等の樹木が並木状をなしている。

草本層には、一般の平地林では、めっきり少なくなったヤマジノホトトギス、キバナアキギリ、トウゲシバ、クサイチゴなども個体数が多く、それとともにオトコヨウゾメ、コバノトネリコな

どや山地性の低木もみられる。さらにヤブコウジ、キツタなどとともにスダジイ、シラカシの幼苗があり、遷移がすすめばスダジイ、又はシラカシの常緑広葉樹を優占種とする極相林に達し得るものと推定される。

イ 野生動物

スギ、ヒノキの植林木も樹高が高く、シイ、カシなどの常緑広葉樹が見られ小昆虫類が割合に豊かであって、鳥類の生息環境として良好な地域である。

ワシ、タカ類のノスリやサシバなどが見られることから、食物連鎖上豊かな動物相を示していることがうかがわれる。

近年著しく減少してきたキビタキ、オオルリ、サンコウチョウがここにはまだ見られる。

シイ、シカラシなどの林があって、暖帯林的様相を示し、さらには、クヌギ、コナラなどの落葉樹をまじえているため、関東平野の平地に一般的に見られる動物や暖地性の動物が見られる。

チョウでは、常緑広葉樹と平行して北に分布をのばしているクロアゲハ、モンキアゲハ、アオスジアゲハ、ウラギンシジミなどや、この地帯に分布の中心をおくキマダラセセリ、アゲハチョウ、キチョウ、コジャノメなどがあげられる。

暖帯落葉広葉林のクヌギやコナラなどには、その樹液を好む昆虫類のカブトムシ、ノコギリクワガタ、カナブン、ケシキスイ、ルリタテハ、キタテハ、サトキマダラヒカゲ、スズメバチなどが見られる。

セミは、関東平野に見られるアブラゼミ、ニイニイゼミ、ツクツクホウシ、ミンミンゼミ、ヒグラシの5種が全て見られる。

(3) 自然環境の保全に関する基本的な事項

地域全域を普通地区とし、そこに生存する動植物を維持するため自然環境の保全を図る。このため保全に必要な規制は条例の定めにより行う。

(4) 保全施設に関する方針

巡視歩道、標識、廃棄物処理施設、植生復元施設、病害虫防除施設、給餌施設、養殖施設等を必要に応じて設ける。

(5) 地区の指定に関する計画

本地域の区域は、次のとおりとする。

名 称	位 置	区 域	総 面 積	土地所有別面積	摘 要
竜 神 山 自 然 環 境 保 全 地 域 普 通 地 区	石 岡 市 染 谷	石 岡 市 染 谷 の 一 部	ヘクタール 8.33	ヘクタール 国有地 1.42 公有地 4.81 民有地 2.10	スダジイなどの常緑樹とクヌギ、コナラの広葉樹にチョウ、トンボ、鳥類

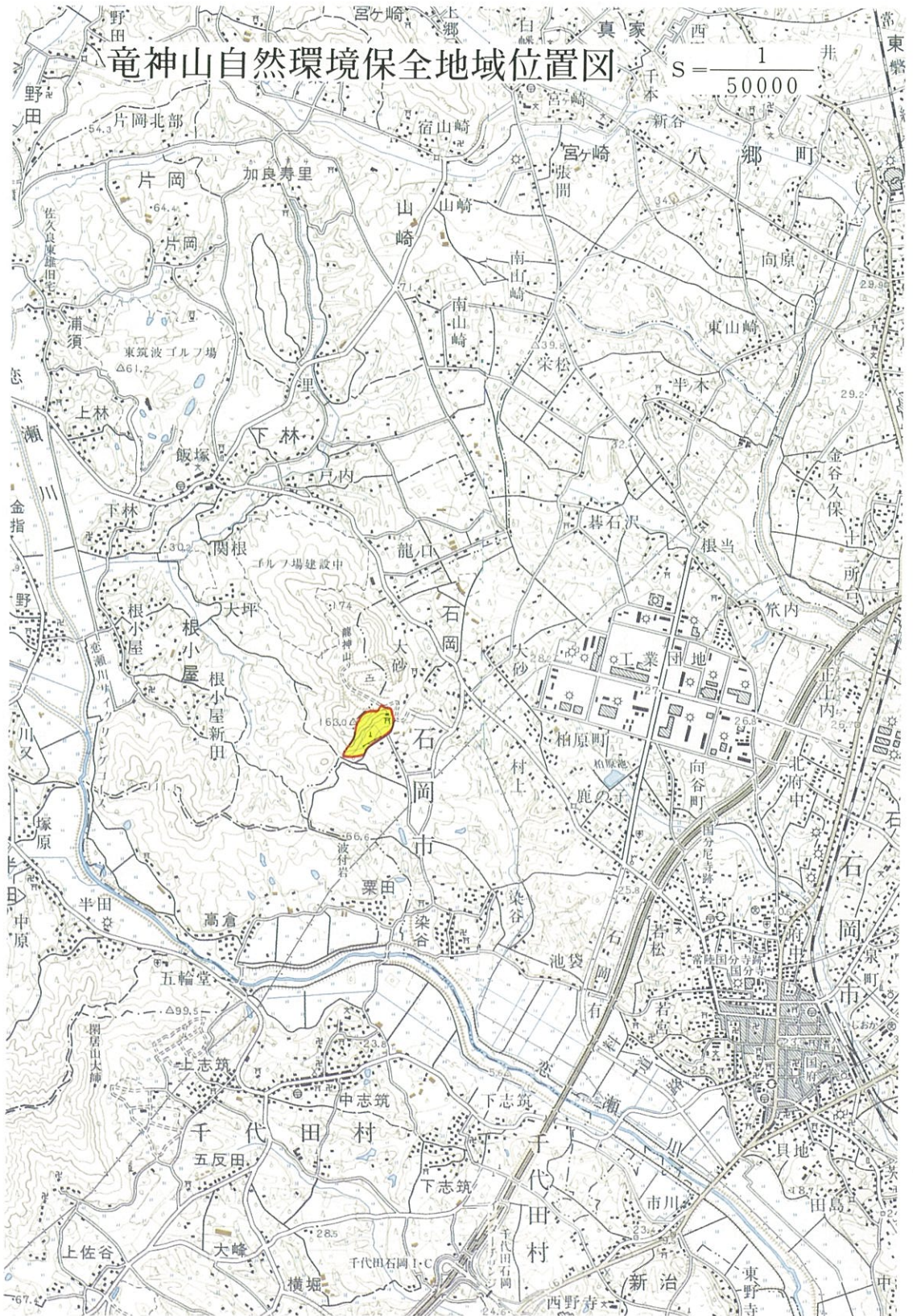
総 括 表

区 分	特 別 地 区									普 通 地 区			合 計		
	野 生 動 植 物 保 護 地 区			そ の 他 の 区			小 計			国 有 地	公 有 地	民 有 地	国 有 地	公 有 地	民 有 地
所 有 別	国 有 地	公 有 地	民 有 地	国 有 地	公 有 地	民 有 地	国 有 地	公 有 地	民 有 地						
所 有 別 面 積 (ヘクタール)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.42	4.81	2.10	1.42	4.81	2.10
地 区 別 面 積 (ヘクタール)	0			0			0			8.33			8.33		
地 区 別 (パーセント)	(0)			(0)			(0)			(100)			(100)		

(面積は図上測定による概算値である。)

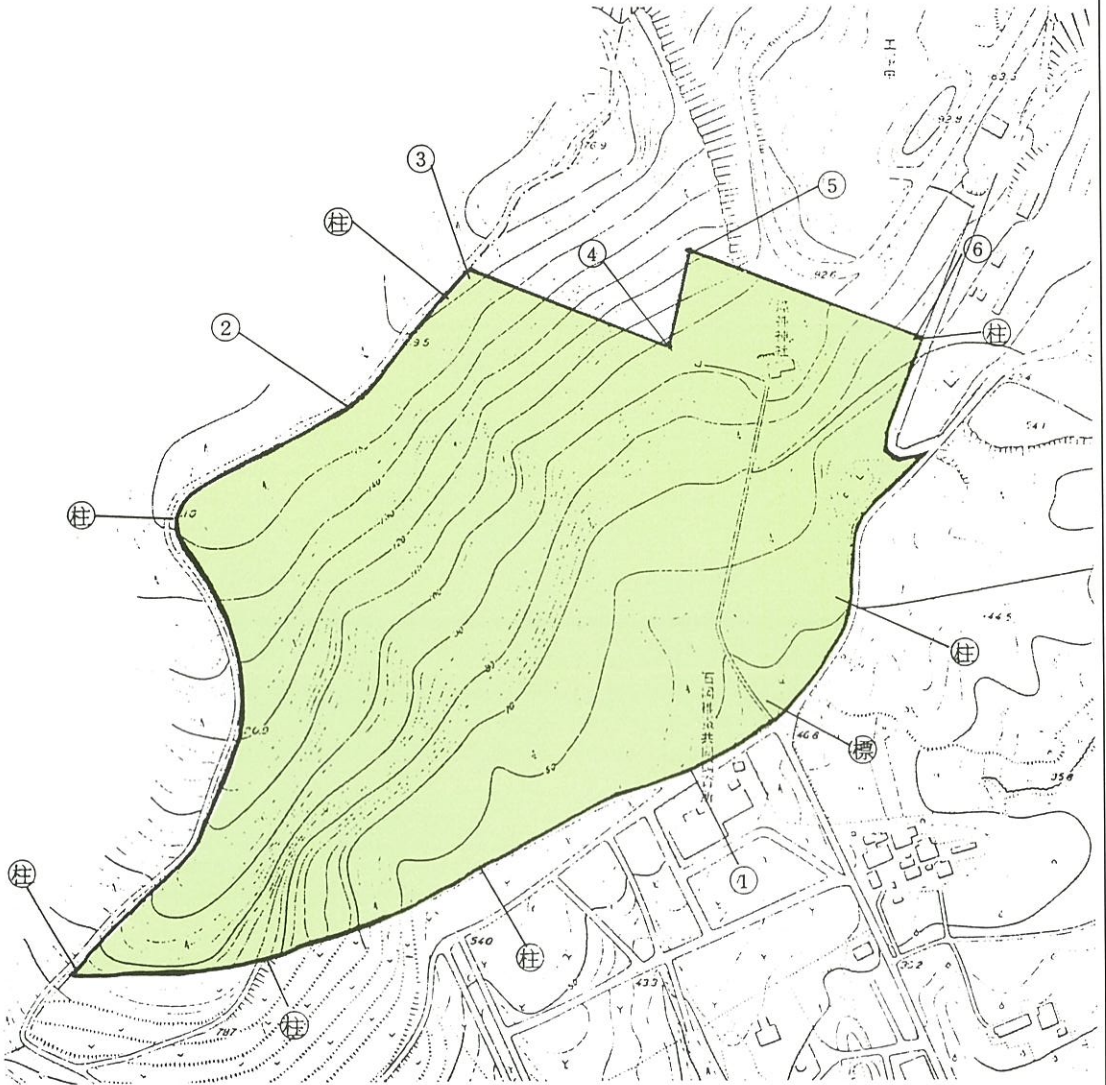
竜神山自然環境保全地域位置図

S = $\frac{1}{50000}$



竜神山自然環境保全地域区域図

$$S = \frac{1}{4000}$$



凡 例	
標	標板設置位置
柱	標柱設置位置

普通地区界	
①~②	国有林界
②~③	31林班に小班とほ小班界
③~④	見透し界
④~⑤	国有林界
⑤~⑥	見透し界
⑥~①	道路界